

Cコース（ポスト巡検）

「和泉層群の多様な堆積構造観察」

日 程： 8月24日（月）日帰り9：30
集 合： 9：30 南海加太線「加太駅」改札口
解 散： 14：30 南海加太線「加太駅」
定 員： 15名
最小催行人数： 3名
費 用： 1,000円(バス代別)

案内者：濱塚 博（和歌山支部，きしわだ自然資料館）

観察地点：城ヶ崎の波食台でタービダイト砂岩に認められる内外の堆積構造の観察．ソールマークの計測と古流向解析．スランプ等の変形構造．産出化石について．最大層厚の凝灰岩層．上方薄層化の積成サイクルの認定

見どころ：紀の川和歌山市、加太深山（かだみやま）海岸は、和泉山脈の最西端部にあたり、万葉の歌にも詠まれ古くから風光明媚な自然海岸として知られています。この付近は大阪湾の湾口部にあたることから艦船への警戒のため明治時代に砲台が設置され、長らく一般市民の立ち入りが制限されてきました。また戦後には瀬戸内海国立公園の一部として自然景観の保護が行われてきたので、今なお見事な自然海岸が残され「地層観察の最適地」になっています。

巡検では、加太深山海岸の海食崖や波食台に現われた上部白亜系和泉層群のタービダイト砂岩に見られる多様な堆積構造を観察します。この地は約50年も前、地団研和歌山支部の堆積学研究の出発点ともなった地であり、現在も数多くの地質巡検や支部普及巡検などが企画されて多くの人々が訪れる場所となっています。

今回案内を勤める私が学生のと看、房総団研が行った単層解析の技術講習会に参加して1/20柱状図記載などを現地で学ぶ中、地元の和泉層群のタービダイト層の堆積学的研究をやるかと心に決め、露頭条件に優れた深山海岸を研究調査地にと選んだ思い出深い場所です。



写真：ソールマークの展示場（城ヶ崎）

砂岩層下底面に多様な底痕が見える（キャベツの葉っぱ状のフロンデセントキャスト、フルートキャスト、スライドキャスト等）

見学するおもな内容を簡単に紹介しておきます。まず、ルートの最北端でこの地域最大の層厚を示す凝灰岩質砂岩層を観察します（凝灰岩層の内部堆積構造と下底面のグループマーク、生痕化石等）。特に砂岩層の層厚変化の組み合わせ、コンポリューションなど特徴的な堆積構造の組み合わせを解説します。次にそれらを鍵層として単層解析の試みを紹介します。そしてルートをもどりながら、小堆積サイクルの認定方法やスランプ等の変形構造ならびに地層の底面に発達する多様な底痕等を計測していきます。城ヶ崎ではフルートキャスト等の底痕観察と産出化石、波食台に広がる小断層やデュープレックス構造を観察します。

今回の巡検では、多様な堆積構造を数多く間

近で観察できることはもちろんですが、地層と向き合ってきたこれまでの経験をもとにして、若手研究者のための技術講習会的な側面を持たせたものにしてみたいと思っています。国立公園内なので採集は一切できませんが記録用のデジタルカメラを活用して、有意義な巡検になるようにしていきたいと思っています。この夏は、ぜひ和歌山においで下さい。
(和歌山支部 濱塚 博)